

短歌

末武 有二 選

千天に苛まされる里芋の掲ぐる太き葉日々  
素枯れる 安永 守住 孝子

押し寄せる波の如くに群生の尾花揺れおり高  
原の秋 惣領 島田 廣子

陽炎に立つ人影は幻のペアテレさんかしお風  
の中に 木山 赤城 香織

ひとときの涼を求めて木陰入り空に晩夏の入  
道雲が 広崎 大原 郁

続々と町民集う木山橋待ちに待ちたる開通式  
を 木山 本田 龍子

この春に教諭となった孫娘盆休一日任地に帰  
る 惣領 垣野 幸一

久々のジブリシネマは美しい夢の世界に誘い  
込まれる 赤井 米澤 さわ

朝焼けを夫が綺麗と呟いてスマホで撮すグラ  
デーシヨン 広崎 日野ヒロ子

泥波に耐えた稲穂の疎ら立つ生き抜く力教え  
られたな 馬水 倉本研一郎

連日の猛暑の疲れ飛ばしたい風が応援早朝散  
歩 惣領 新居 露子

水の畠穂袋弾け背伸びする水守急ぐ露の畦道  
惣領 甲斐 道夫

投稿は、一人一首(句)でお願いします。

俳句

河野 全平 選

大輪の花火の下や盆踊り  
夕立に不意の客あり照る紅葉

迎え火の明かりともして夫待つ  
冷房中猫も入り込む暑さかな

年寄連サロン入会若返り  
かき氷食べて紛らす熱中症

朝起きて真つ先に見る温度計  
孫ら帰る庭に花火の痕残し

熱中症しとしと雨の有難さ  
一句鑑賞  
鹿垣も結はぬ過疎地となりはてし

赤井 増岡 伸禧

赤井 永樹みちこ

惣領 阪口由美子

古閑 今村 恒心

宮園 米村 盛子

惣領 野々口トミ子

布田川左門 選

秋分やおはぎうまくて三個食べ  
ブルーベリーお歯黒隠せぬ盗み食

この暑さ時々昭和に戻りたい  
大竿や落鮎狙ふ太公望

『お題』 夏の終わり  
帰省子を稲穂は招く早場米

甲子園球児の夏は終わりけり  
八冠へ藤井聡太の野望かな

秋の雲終わらぬ夏の熱気かな

赤井 永樹みちこ

赤井 永樹みちこ

惣領 阪口由美子

古閑 今村 恒心

宮園 米村 盛子

惣領 野々口トミ子

布田川左門 選

木山 鎌田 隆子

木山 本田 龍子

馬水 松本 稔

木山 友田 漁太

赤井 醉 粹

投稿は投稿者の住所、電話番号を必ず記入し、役場  
広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。

次回のお題 「登山」



益城の文化財  
町文化財保護委員会

小谷

岳ヶ水水源までの道はなく、川  
を歩いて近づくしかありません。  
まず目に入るのが水道橋です。現  
在は、熊本地震によって折れ曲が  
り、残骸となっています。

橋直下の河岸には、セメントの  
貯水槽があります。高さ2・55m、  
横幅19・5m、奥行き3・5mを  
超える巨大なものです。近くには、  
井戸のように掘り下げた穴があり、  
給水用のパイプも見ることができ  
ます。ここには2台のモーターが  
あり、一分間に4トンの水をくみ  
上げる、大規模な水源であったこ  
とが記録に残されています。

この水は、昭和46(1971)年  
に布田川右岸にある高遊原台地に  
開港した熊本空港と陸上自衛隊高  
遊原分屯地に配水されました。大  
峰火山の溶岩台地で、周囲より高  
いため、水事情が悪く、岳ヶ水か